

2023/03/12(日) 10:00~12:00 花芽観察会

参加人数：32人(桜並木会議の会員7人)

日本の各地から桜の開花がそろそろ聞こえてこようかという絶好の時に観察会を行いました。

当日は3月の中旬に入り始める時であり、暖かさを感じられる陽気となりました。観測開始時には10℃を超えていました。

過去の観察会の中では、寒さに震える日はあっても、このような温かさを感じたことは一度もなかったような気がします。

講師はずーっと上北沢の桜を見ていただいている石井誠治樹木医さんです。

最も線路寄りに植えられていて、陽当たりも良い位置にある「ジンダイアケボノ」は「開花」となっていました。

「ソメイヨシノ」は4~5日の後に開花するだろうとのコメントでした。

観察会では、花芽と葉芽がふっくらとしており、その色によって、はっきりと花芽か葉芽かの区別がつかしました。

- ・今回の観察によって、大きく3段階に分けている評価結果によるランクの変動はありませんでした(昨年の花芽観察会の評価で最も倒木の危険があると診断されていたNo.6を12月には伐採しています)
- ・評価ランクは変わっていませんけれど、枝の先が痛んでいたり、コブができていたりしている桜が多く、今後の対策が必要なものが多くありました
- ・しかしながら、まっすぐ伸びている枝が出て、過去の対策が生きているところも多くみられました
- ・評価結果の一覧は、以下のとおりです

桜の状況【2023年3月12日現在】

◆全体本数：44本 [履歴リスト上は51本、7本が伐採跡、その内1本は昨年(2022年)住宅工事のため一時伐採した]

色別本数	良好：青	25本(うち若木14本)*	
	多少問題有り：黄	16本	
	植替えあるいは観察中：赤	3本	
	計	44本	
*若木：全体で14本 (植栽10年以内：△印)	樹種	ジンダイアケボノ	10本
		ソメイヨシノ	2本
		シロタエ	1本
		オモイガワ	1本

【今後の対策】

- ・今後の伐採候補は「Cランク」の3本と、No.49の1本です
- ・上部の「枝切り」を中心とした対策が必要な桜は6本です (No.1、7、8、11、34、46)
- ・経過観察が必要な桜は4本です (No.1、9、20、45)
- ・植え柵あるいは支柱の撤去は、No.2、29、45の3本です
- ・「ランクB」のNo.31は、「樹勢回復」を図りたいが当面の手立てが見つからない状況です